

ハッピと発達

環境づくり編

発達障がい教育室では、小・中学校、高等学校等の通常の学級や通級による指導を担当する先生、特別支援教育の経験が浅い先生に向けて、発達障がいのある児童生徒への指導や支援の取組のヒントとなるよう「発達障がい教育室だより『ハッピと発達』」を発行しました。

登場人物紹介



ぷりまる先生

通常の学級の担任 ベテラン
特別支援教育についてまだまだ勉強中

円山くまお先生

今年採用になった先生
通常の学級を担当している

発達ノビ子先生

特別支援教育コーディネーター
経験豊富なベテラン

① 困ったねー

うちのクラスのBさん 掃除用具や手順を**何度も注意しても間違えるんだよね。**

どうしたのかな？

②

床拭き用と机拭き用の雑巾は間違えるし、手順はぐちゃぐちゃなんですよ。

何か原因があるのかな？できる工夫はないかな？

ちょっと見に行ってみよう

③

どれを使って何をどうすれば…

道具は大切に!!

注目!! 床拭き用と机拭き用の雑巾を分けて使ってください。

掃除はきれいに!!

④

ぷりまる先生、Bさんが掃除に取り組みやすくするための**環境づくりの工夫**を考えてみましょう。

そんな工夫なんてできるの!? Bさんは何回伝えても間違えちゃうのに!!

⑤

基礎的環境整備

全ての子どもの学びやすさにつながることを念頭に置いた学級全体での指導方法の工夫の一つに、教室環境の整備があります。

多様性・包摂性を尊重した教室環境の整備は、「**基礎的環境整備**」に当たります。

基礎的環境整備を進めるに当たっては、ユニバーサルデザインの考え方も考慮しつつ進めていくことが重要です。

Bくん以外も分かりやすくなるもんね

教室環境の整備の例

- 手順を掲示して確認できる
- 用途ごとの色分け
- ラックに用途ラベルを貼る
- やり方も見て分かるように示す
- 雑巾に用途を直接記載する

なるほど!! 誰が見ても分かる環境づくりが重要なんだね。